

氏名	白 木 照 夫		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	医	学	
学位授与番号	博 乙 第 2708 号		
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 25 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	肥大型心筋症における肥大様式とベクトル心電図の対比検討		
論文審査委員	教授 原岡 昭一	教授 菅 弘之	教授 佐野 俊二

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

肥大型心筋症の肥厚形態の評価のため、心臓超音波とMRIを併用し、肥大部位にベクトル心電図の特徴を検討した。対象は肥大型心筋症43例で、最も肥厚の強い部位により Septal type, Anterior type, Posterolateral type, Apical type の 4 型に分類し、各群のベクトル心電図のQRS環、T環の指標を定期的に比較検討した。肥大型心筋症に於ける肥厚形態は、中隔を中心としたものが多かった。QRS環は、心尖部肥大や自由壁肥大では、それぞれの肥大相当部位に偏位し、その成因として肥大部位での起電力の増加が考えられた。一方、中隔肥大では肥大部位から遠ざかる傾向にあり、病勢の進行の伴う肥大部位での起電力の変化や、伝導障害が進行したためと考えられた。その結果、最大QRSベクトルの方向により、ある程度肥大部位の推定が可能であった。T環は心尖部肥大で最も細長い形態をとり、その成因として心尖部の相対的な肥厚の程度が関与していると考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は43例の肥大型心筋症について、超音波、MRIとベクトル心電図の関係を検討し、QRS環は肥大部位に偏位することを明らかにしたもので、価値ある業績と認める。よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。